

# 沖縄県民集会（3.21）に連帯し、安倍政権の暴走を止めよう！

## 辺野古基地建設を許さない！ 3.23 官邸前行動

●日時 3月23日（月）午後6時半～

●場所 首相官邸前（地下鉄・国会議事堂前駅下車）



海上保安官の暴力を許すな！

これが「民主主義」を基本とする政府のやることなのか！？安倍政権の暴走が止まりません。辺野古の新基地建設を力づくで推し進めているこの暴挙を何としても止めなければなりません。

何度も「基地建設 NO！」という民意が示されているにも関わらず、年明け早々、日本政府一防衛省は辺野古の海の埋め立て、新基地建設工事を再開。当初の工事計画にもなかった2トンから45トンという巨大なコンクリートブロックを、フロートを固定するアンカーと称して何十個も投入し、貴重な珊瑚を破壊しました。

その事実を確認した沖縄県は作業の中止を国に要請しましたが、菅官房長官は「沖縄県が一方向的に現況調査をしたのは遺憾」と逆に開きなおる始末です。

3月5日にも、大型のコンクリートブロックが投げ入れられました。ボーリング調査再開に使用するスパッド台船を固定化するためとみられます。これらは事実上の埋立て工事です。豊かな辺野古の海が壊され、ジュゴンの餌場が奪われています。

抗議する人々への妨害、弾圧も止みません。2月22日にはキャンプシュワブ前で、山城博治（沖縄平和運動センター議長）さんら2名が、米軍の警備員によって基地内に引きずり込まれ逮捕されるという事態が生じました（翌日釈放）。辺野古の海では、抗議するカヌー隊（辺野古ぶるー）や平和船団に対する拘束、暴力も依然続いています。3月4日には、辺野古ぶるーのメンバーが長時間の拘束により低体温症で病院に運ばれるという事態も生じています。

辺野古には連日沖縄各地から支援の人々が結集し、「島ぐるみ」の闘いが繰り広げられています。

2月22日には予想を超える3,000名の人々がキャンプシュワブ前に集まり抗議集会を開催しました。

また、3月21日には、大浦湾に面した瀬嵩の浜で、県民集会が行われ、あらためて基地建設を許さない強い意思表示がなされます。

ヤマトー首都圏に住む私たちは、この県民集会に呼応し、沖縄と連帯する東京での行動として、3月23日に首相官邸前に集まり、安倍政権に対する抗議の声を上げていきたいと思えます。ぜひとも多くの皆さんが参加して下さい。



ボーリング調査のため組み立てられるスパッド台船

●呼びかけ **辺野古への基地建設を許さない実行委員会**  
**沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック**  
連絡先 090-3910-4140